



校長室だより

黒部市立荻生小学校

文責：校長 寺島紀子

令和4年6月8日

第10号



去る3日(金)、1年教室をのぞくと、子供たちがALTのジャック先生と英語の学習をしているところでした。Happy(うれしい),hungry(おなかがすいた),hot(あつい)といった英単語を繰り返し口に、その後は子供たちの大好きなぬり絵をしながら復習をしていました。外国語活動は3・4年生、教科の外国語(英語)は5・6年生なので、正式な時間割として1・2年生に英語の時間はないのですが、ジャック先生の空いている時間の範囲内で、時々はこうして英語に親しむ学習活動を取り入れています。

ジャック先生は子供たちの日本語の会話をよく聞き取りつつ、優しくはっきり、英語で話しかけてくださいます。小さい頃からネイティブな発音の英語に親しむことのできる子供たちは本当に幸せです。

6/2(木)~6/9(木)は ふれあい週間(教育相談週間)です

★事前アンケートへのご協力、ありがとうございました

本校では、1学期の折り返しとなるこの時期を「ふれあい週間」とし、子供と担任の個別面談(教育相談)を全学級で行っています。保護者の皆様にはこれに先立ち「いじめに関わるアンケート」にご協力いただきました。いくつかの具体的な記述がありましたが、いずれもご家庭でお子さんの話をよく聞いてくださったからこそその情報提供でした。小さな事実でも見逃さずに教えていただくことで、大きな問題を未然に防ぐことにつながります。ありがとうございます。

一方、子供たちには「ふれあいアンケート」を行いました。「学校は楽しいですか」「今がんばっていることはなんですか」「こまったことはありませんか」といった問いに答えてもらいました。

★一人一人の子供のよさや可能性を見つける「積極的な生徒指導」の姿勢で

この期間中は朝活動(読書等)の時間等を使って、担任が子供たちと順に個別面談を行っています。事前アンケートの内容を参考に、学習や友達関係、家庭での過ごし方等、幅広く話を聞いています。「ふれあい」の言葉のとおり、各担任は子供との信頼関係を深めることを第一に考え、子供の話を共感的に聞くことを心がけています。またアンケートに何も書いていなかった子にも頑張っていることや困っていることはないかを尋ねるようにしています。

問題が起きた後に対応するだけではなく、一人一人の子供のよさや可能性を見つけることで問題を未然に防ぐ「積極的な生徒指導」の姿勢をこれからも大切にしていきます。

授業力向上のために・・・!

去る1日(水)、音楽科の授業力向上のための校内研修会を行いました。

県授業力向上アドバイザーの宮崎新悟先生(元たかせ小学校長)をお招きし、鑑賞の授業について研修しました。

まず、5年音楽の授業を実際に宮崎先生にさせていただき、それを本校の教員が皆で参観しました。

さすが、音楽指導のプロの宮崎先生、5年生の子供たちの意欲をぐっと引き出しながらの授業でした。子供たちは実に楽しげに音楽の世界に引き込まれ、よく考え、反応していました。この日全校で唯一、6限まで残ってくれた5年生の子供たちに感謝します。本当にありがとう!

5年生の下校後は、授業の余韻の残る音楽室で研修の後半戦でした。授業を振り返りながら、鑑賞の授業のポイントについて学びました。聴き取ったことや感じ取ったことを、どのように目に見える形で表し、理解を深めていくか。

今回の授業では、色画用紙を使って曲の構造を考える方法が参考になりました。いい研修ができました。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。



地域の皆さんといっしょに、さわやかあいさつ運動

6月1日(水)～8日(水)の登校時に合わせ、校門付近で学年ごとのボランティアメンバーがあいさつを行っています。荻生地区の皆さんも学校に集合され、いっしょにあいさつをさせていただきます。ありがとうございます。

天気のよい日はもちろんですが、雨が降った7日(火)の朝も、担当の3年生が傘を差しながらあいさつをしてくれました。その元気な姿に、地域の皆さんも微笑んでおられました。

地域の皆さんのお陰で、校門を通過する子供たちの声いつもより5割増しぐらいの大きさに感じます。

あいさつを交わす気持ちよさを感じ、よい習慣となることを願います。

シリーズ「教室におじゃまします」6/3(金)4年 理科の巻

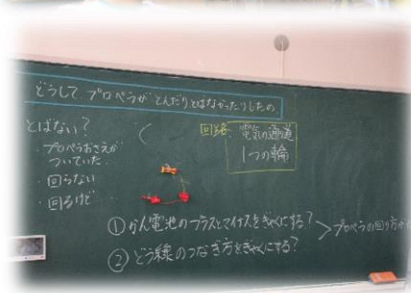
この時間、前半は「天気と気温」のテストでした。隣の3年教室が帰りの会の準備で、元気な声がよく聞こえていましたが(笑)、そうした物音に一切動じることなく、子供たちは真面目に集中してテストに向き合っていました。さすが4年生です。

さて、後半は「電気のはたらき」についての学習です。前の時間からモーターの力でプロペラを飛ばす工作に取り組んでいる、その続きです。担当の霜野成巳先生(教務主任)が「どうしてプロペラが飛んだり飛ばなかったりしたのだろうか」と問いかけると、たくさんの発言が出てきました。

「回路がうまくできていなかったのでは?」という意見から「乾電池のプラスとマイナスを逆にするとプロペラの回り方が変わった」「導線のつなぎ方を逆にしたときも回り方が変わった」という意見まで、前の時間に一人一人がいろいろなことを試しながら学習してきたことが分かりました。今回は時間も短いことから、先生が黒板のところで示した1つの回路だけを使っての授業でしたが、それをじっと見つめる子供たちの視線の集中の具合が素晴らしかったです。

霜野先生はどの発言も温かく穏やかに受け入れて反応されるので、子供たちも安心して意見を言い合っていました。

プロペラの飛び方には乾電池のつなぎ方等が関係ありそうです。次回はこのことを詳しく確かめていくのでしょうか。楽しみです。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。